

# 令和2年度に向けた農林水産部の施策の基本方針

令和元年11月定例会(付託)  
経済委員会資料 資料1  
農林水産部

## I 人を『育む』

### ◆次代を担う人材の育成・確保

- ・「とくしま農林水産未来人材スクール」を核とした情報発信から就業、定着までの総合支援の展開
- ・「農業大学校」・「かんきつ・林業・漁業アカデミー」の人材育成機能の充実・強化
- ・スマート農林水産業・6次産業化人材など次代の担い手の育成

### ◆多様な担い手の確保

- ・障がい者の社会参画と経営体の労働力確保に向けた農福連携の推進
- ・女性、アクティブシニアなど多様な人材の活躍促進

### ◆就業希望者の受け皿への支援

- ・「農林水産業未来創造基金」を活用した経営体への支援
- ・サイエンスゾーンへの参画企業、大学との連携強化

次世代人材

## II 生産を『増やす』

### ◆産学官連携によるオープンイノベーションの加速

- ・IoT・AI・5Gなど最先端技術を活用した研究開発と現場実装の推進による「スマート農林水産業」の実現

### ◆本県の強みを活かした産地づくりの推進

- ・「地域商社阿波ふうど」によるマーケットイン型産地づくり
- ・園芸産地リノベーションの推進
- ・「GAP」, 「有機JAS」の取得促進による「とくしまエシカル農産物」の生産拡大
- ・伝統の「藍」の生産・利用拡大の推進
- ・藻類などの「陸上養殖」技術開発の推進
- ・「発生させない・持ち込ませない」家畜防疫対策の強化と畜産業の経営安定対策の推進

### ◆スマート林業プロジェクトの推進

- ・主伐対応の先進機械導入促進
- ・県産材の魅力を発信する木育拠点施設の整備推進

Society5.0

## III マーケットを『拓く』

### ◆進化するとくしまブランドの展開

- ・「地域商社阿波ふうど」を核とした戦略的な「とくしまブランド」の首都圏展開
- ・航空貨物や混載便など新物流の定着、拡大による新鮮食材の供給拡大

東京オリパラ  
WMG2021  
大阪関西万博

### ◆輸出促進によるグローバル展開

- ・東南アジアでの外食など「業務用需要」の獲得支援
- ・「ハラール市場」の開拓と国際認証「GI」を活かした「とくしま三大香酸かんきつ」の更なる販路拡大
- ・「とくしま三ツ星ビーフ」の生産・流通体制の強化
- ・海外ニーズに対応したグローバル産地の育成

### ◆6次産業化の推進

- ・産学官金連携による高付加価値商品の開発・販路開拓支援
- ・課題解決を図る研修会の開催やプランナーの派遣

TOKUSHIMA  
MITSUBOSHI BEEF

ブランド確立

## IV 生産を『支える』

### ◆大規模災害に備える県土強靱化の推進

- ・ハード・ソフト両面からのため池対策の推進
- ・山地防災力を強化する治山対策と風倒木等被害対策を強化する森林整備
- ・中山間地域の安全・安心に資する避難路機能を有する農林道の整備
- ・被災後の復旧・復興の迅速化に向けた「地籍調査」の促進

### ◆「とくしまブランド」を支える基盤整備

- ・農産物の品質向上を図る農業水利施設の整備
- ・農地中間管理機構と連携した基盤整備による農地集積の加速化

### ◆生産基盤の戦略的な維持管理

- ・森林データの精度向上や情報共有の推進
- ・水産資源の増大を図る「藻場造成」の推進

基盤整備

地域特性に応じた  
きめ細やかな施策を展開

## V 地域を『守る』

### ◆気候変動対策の推進

- ・適応技術の開発・実装と新たな養殖魚など新品種・品目への挑戦
- ・適切な森林サイクルの推進による森林吸収源対策

### ◆野生鳥獣による被害の軽減と阿波地美栄の消費拡大

- ・捕獲活動の強化や若手ハンターの育成による体制整備
- ・捕獲から消費まで一貫した取組による「阿波地美栄」の品質確保と安定供給

### ◆農山漁村地域の魅力創出・交流促進

- ・とくしま農林漁家民宿のインバウンド対策支援
- ・「かんきつ人材育成・にぎわい交流」拠点の開設
- ・「棚田」や「農山漁村の歴史的景観」の保全・活用による地域活性化

地域資源活用

農林水産業の成長産業化を加速させ「もうかる農林水産業」を実現！